

作家・大佛次郎 (1897-1973)
「パリ燃ゆ」執筆の頃、1963年



画家・山口蓬春 (1893-1971)
皇居宮殿に収める杉戸《楓》を制作中、1967年

大
佛
次
郎

山
口
蓬
春

おさらぎ じろう やまくち ほうしゆん
大佛次郎と山口蓬春

作家と画家、重なるまなざし

2025

1/21 (tue) - 4/20 (sun)

開館時間：3月まで/10:00~17:00 (最終入館16:30)
4月から/10:00~17:30 (最終入館17:00)
休館日：月曜 (月曜祝日の場合は開館、翌平日に休館)

【観覧料】

■一般/200円 ■中学生以下/無料 ■20名以上の団体は150円

*横浜市内在住の65歳以上の方は100円。(演ともカード等をご提示の場合)

*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

*毎月23日 (市民の読書の日) と第2、第4土曜日は高校生以下無料。

大佛次郎記念館 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113 (港の見える丘公園内)

TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <https://osaragijiro-museum.jp/>



大佛次郎と山口蓬春 — 作家と画家、重なるまなざし

2025年1月21日(火)～4月20日(日)
前期：2025年1月21日(火)～3月2日(日) | 後期：3月4日(火)～4月20日(日)

山口蓬春(1893-1971)は終生画壇で活躍し、独自の表現を模索し続けた日本画家です。伝統的な技法を研究したうえで東西の芸術を同化し、時代感覚を捉えた蓬春の作品は「蓬春モダニズム」と形容され、戦後画壇において新たな展開を示しました。

多くの業績を残した蓬春は、文学作品のために挿絵や装幀の仕事も手がけました。作家・大佛次郎(1897-1973)のエッセイや、時代小説の単行本にいくつかの作品を提供したほか、明治百年を記念した史伝「天皇の世紀」(新聞連載全1555回)の挿画30点を蓬春が担当しています。同じ時代を生きた二人は、画壇と文壇というそれぞれの世界で新しい挑戦を続けました。

展示では、大佛と蓬春が共同で行なった仕事、エッセイの言葉、ともに愛妻家であった側面などを通して、二人の人物像や制作に対する姿勢を紹介します。

葉山の山口蓬春記念館では、同時期に新春特別展「大佛次郎と山口蓬春—時代を拓いた小説家・画家—」を開催。蓬春の日本画を実際にご覧になってお楽しみください。

主な展示資料

※資料保護のため、会期中に一部展示替えを行います。

※No.01、03、04は山口蓬春記念館蔵、その他は大佛次郎記念館蔵



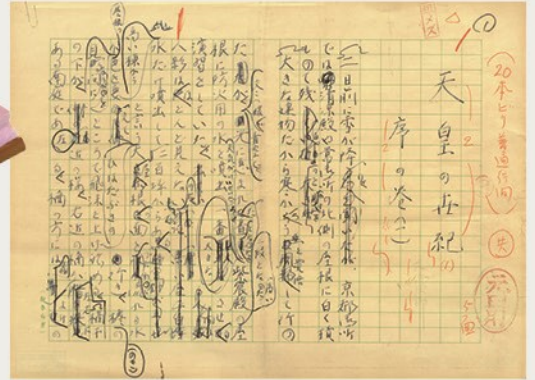
01



02



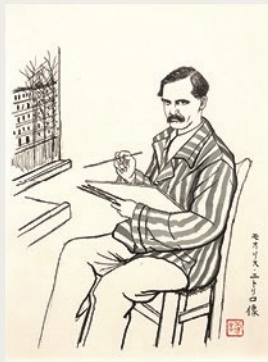
07



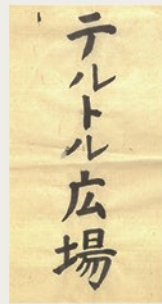
08



03



04



05



06

01. 山口蓬春《望郷》小下図 1953年/02. 大佛次郎「月の人」単行本 装丁:山口蓬春 1963年/03. 山口蓬春《駿河台 ニコライ堂》(大佛エッセイ「散歩みち」挿画)1963年/04. 山口蓬春《モオリス・ユトリ口像》(大佛エッセイ「テルトル広場」挿画)1963年/05. 大佛次郎「テルトル広場」題字下書き/06. 大佛次郎「テルトル広場」新聞切抜 朝日新聞PR版「四季」欄掲載 1963年9月6日/07. 扇子(八代目中村福助襲名披露品)デザイン:山口蓬春 1967年、大佛家旧蔵/08. 大佛次郎「天皇の世紀」第一回原稿 1967年

関連イベント

●山口蓬春記念館での出張レクチャー「大佛次郎について」

講師：大佛次郎記念館研究室職員/金城瑠以
日時：2月9日(日) 14:00～15:00
定員：先着20名
場所：山口蓬春記念館別館 多目的室
参加費：無料(当日の入館券は別途必要)

●山口蓬春記念館担当芸員によるレクチャー

講師：山口蓬春記念館副館長 兼 学芸主任/笠 理紗
日時：3月22日(土) 14:00～15:00
定員：先着25名
場所：大佛次郎記念館 2階サロン

●「画家と作家の記念館めぐり」スタンプラリー

期間：2025年1月21日(火)～4月20日(日)
葉山と横浜をめぐるスタンプラリーを開催。スタンプ台紙を持参すると、2館目の入館料が割引(山口蓬春記念館100円引き/大佛次郎記念館50円引き)となります。スタンプが揃ったら、オリジナルポストカードセット(先着順)をプレゼント!(台紙1枚につき1名様まで)



展示解説など(会場:大佛次郎記念館)

展示解説 第2土曜日14:00～(約30分)
たてものミニミニトーク 第3土曜日14:00～(約15分)

同|時|開|催

大佛次郎×ねこ写真展2025
場所：大佛次郎記念館 1階ロビー

山口蓬春記念館 同時開催

山口蓬春記念館 令和6年度 新春特別展

【大佛次郎と山口蓬春 —時代を拓いた小説家・画家—】

山口蓬春の日本画とともに、長谷川路可や木村荘八など、大佛・蓬春ともに交流のあった美術家の作品を展示。

会 期：2025年(令和7)2月1日(土)～3月30日(日)
主 催：山口蓬春記念館・公益財団法人JR東海文化財団

次回展示予告

のじりぼうせい
野尻抱影 生誕140年展(仮)
会期：2025年4月26日～8月31日

※各事業の詳細は、当館ホームページ等でご確認ください。

大佛次郎記念館 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内) Tel: 045-622-5002/Fax: 045-622-5071 <https://osaragijiro-museum.jp/>

アクセス

【電車】

*みなとみらい線(東急東横線直通)
▶元町・中華街駅下車(元町方面改札)
6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)
5番出口(谷戸坂経由)いずれも徒歩8分
*JR根岸線▶石川町駅下車(元町口)徒歩20分

【バス】

*神奈中バス11系統(桜木町駅～保土ヶ谷駅東口)
*市営バス20系統(桜木町駅～山手駅)
*観光スポット周遊バス「あかいくつ」
▶いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩2分



Google マップ